

太子町教育委員会／令和4年9月定例会議事録

日時及び場所

- 日時 令和4年9月26日(月)
開会時間：午前9時30分
閉会時間：午前10時23分
- 場所 役場庁舎3階 第1会議室

会議に出席した者の職氏名

- 出席者
教育長 勝良教育長
委員 仲堅教育長職務代理者、上籾委員、明石委員、筒井委員
事務局 池田教育次長、正野教育総務課長兼給食センター所長、矢野教育総務課学務指導担当課長、東條生涯学習課長、吉村教育総務課長補佐、川村教育総務課主査
- 欠席者
なし
- 傍聴者
なし

議題

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長の報告
- 日程第3 諸般の報告(その他)

勝良教育長

おはようございます。

それでは、これより教育委員会9月定例会を開催いたします。

まず、【日程第1 会議録署名委員の指名】をいたします。本日の署名委員は、【明石委員】をお願いいたします。

続きまして、【日程第2 教育長の報告】について報告申し上げます。

勝良教育長

中学校の体育大会ですが、暑すぎることもなく、多くの保護者にも観に来ていただき、無事終了いたしました。小学校と幼稚園の運動会は、来月に予定されております。昨年と同様に規模を縮小しての開催となりますが、順調に開催することができるのではないかと考えております。

コロナの状況については、何となく落ち着いてきたのではないかと気がいたします。先週土曜日に万葉ホールでコロナのワクチン接種がありましたが、予定枠800人のところ270人の接種ということでした。オミクロン株に対応したワクチン接種が始まることを見越して、接種を控える方が多かったのではないかと思います。

実りの秋と言われる時期になり、学校園や社会教育では多くの行事やイベントが本番を迎えております。ウクライナの問題も含めて世界情勢や国内の経済状況等まだまだ懸念されることが多いですが、少しずつ日常を取り戻していけるよう現場と共に考え、進めて参りたいと考えております。

本日は全国学力・学習状況調査の結果について報告させていただく予定になっております。小学校において改善が見られたようでございます。一方で、コロナ禍の中で目標を見失っているような子ども達が増えているのではないかと思いますし、また先生方においても行事等が取り止めになる中で混乱をきたしているのではないかと気がいたします。こんな時こそ管理職の強いリーダーシップが必要になってくると思っております。来月には各学校より学力向上に関する取り組みの発表をしていただきます。次年度に向けて地道に取り組みを進めていくことが大事だと思いますので、通常の学校を取り戻すという意味でもしっかり取り組んでいただきたいと感じているところでございます。

以上でございます。

勝良教育長

ただ今の件につきまして、ご質問等はございませんか。

勝良教育長

無いようですので、次に【日程第3 諸般の報告（その他）】について説明を求めます。

教育総務課長
正野課長

私から3点ご報告させていただきます。

まず1つ目ですが、令和5年度の町立幼稚園園児応募状況についてです。現在6名の方が入園申込書を取りに来られており、うち5名の方が申込みを済まされております。残る1名につきましても、兄弟が町立幼稚園に在園中ですので、入園が見込める状況です。1人でも多くの方に入園していただけるよう、引き続きPRを行ってまいりたいと考えております。

次に2点目ですが、太子町教育委員会施設等で使用する電力供給についてです。例年より遅れましたが、ようやく関西電力送配電株式会社との契約が終わりました。今回の契約の経緯についてですが、ロシアのウクライナ侵攻の影響を受け、原油価格が急激に高騰したことにより、新電力の撤退等による入札辞退で入札が不成立となりました。小売電気事業者との契約ができなかった場合に、最終保障供給という制度がございます。これは、事業者が不測の事態によって電力供給が出来なくなった際に、利用者が不利益を被ることがないように設けられた制度でございます。新電力は安価で電力を供給できるメリットがある反面、厳しい市場競争や原油価格の高騰などの影響を強く受けるというデメリットがございます。太子町教育委員会施設等で使用する電力につきましても、最終保障供給の関西電力送配電株式会社との契約となりました。その結果、これまでの約1.4倍の価格での契約となりました。今後状況が変わり、新電力が新規受け付けを開始した場合、現在の契約を途中で解除し、再度、新電力へ切り換えることを予定しております。

なお、役場庁舎につきましては、ビルなどの省エネルギー化に必要な技術設備、人材資金などを包括的に提供するサービスであるESCO事業を導入したため、新電力への切り換えを行わなかったという経緯がございます。

電力供給に関する報告は以上です。

3点目です。資料はございませんが、両小学校の運動会が10月2日に予定されております。今年は学年を分けてではなく、全学年揃っての開催が予定されております。来賓の出席につきましては、中学校の体育大会と同様に設置者のみとさせていただきますので、教育委員の皆様方のご出席につきましては今年度も見合わせるという形でお願ひしたいと思います。

教育総務課からは以上でございます。

勝良教育長

この件につきまして、何かご質問はございませんか。

明石委員

幼稚園の応募状況についてですが、入園対象となる3歳児の幼児は町内にどれだけいますか。

教育総務課長
正野課長

50人ですが、そのうち約半数が既に保育園に入園しておりますので、実際のところは20～30人となっております。出生数も毎年減っておりますので、新たな転入者がなければ幼稚園の入園者数増も見込めない状況でございます。磯長小学校区において新たな住宅開発がされている所もあるようですので、若干の子どもの数の増加が見込めるのではないかと考えております。

明石委員

対象児の数に対して、町立幼稚園に入園する人数の割合はそれほど変わってはいないのでしょうか。

教育総務課長
正野課長

割合としてはあまり変わっておりません。

勝良教育長

他にご質問ございませんか。

勝良教育長

無いようですので、続きまして生涯学習関係の報告をお願いします。

生涯学習課
東條課長

それでは生涯学習課から諸般の報告をさせていただきます。

クリップ留めの資料に竹内街道歴史資料館と大道旧山本家住宅の招待券を付けさせていただいております。資料館で企画展を開催するにあたり、資料を提供いただいた方へのお礼や三役の方々に啓発媒体として利用していただけるように作成しております。

それでは資料に沿って説明させていただきます。

まず、事業の結果報告です。令和4年度の体育連盟登山ですが、9月18日に蓬萊山での実施を予定しており、申込みが定員40名に達しておりましたが、残念ながら台風接近に伴い中止となりました。

次に、青少年指導委員会主催のわんぱくチャレンジャー大会です。9月10日に山田小学校の運動場で開催しました。参加者は91名でした。

続きまして、今後の行事の予定です。1つ目は、歴史資料館で開催する企画展「近世山田村のくらし」についてです。会期は10月1日から12月4日となっております。広報たいし10月号に2名まで無料で入館していただける券をつけております。

2つ目は、第62回太子町文化祭についてです。10月29日、30日で開催する予定をしております。展示が29団体、演芸が17団体参加されます。

3つ目は、菊花展についてです。10月25日から11月8日まで万葉ホール屋上のイベント広場で展示を行います。審査会と表彰式は10月27日に予定しております。

裏面をお願いいたします。

第8回まだ、読め～るフェアです。毎年開催しているブックリサイク

ル市で、図書館において10月29日、30日に実施させていただく予定となっております。

次に、生涯学習センター太子の森の後期教室についてです。韓国語講座など新しい教室や夜の教室も実施させていただく予定です。受付期間は10月11日から23日となっております。詳しくは、別添の「太子の森だより」をご覧くださいと思います。

次に、太子町二十歳を祝う会です。1月9日の10時から万葉ホールで実施予定でございます。名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更させていただいております。

その他の報告といたしまして、総合体育館のメインアリーナとサブアリーナの照明設備と床の改修工事についてです。工事期間は11月から年明けの1月下旬までとなっております。工事期間中は、施設の利用はできません。

最後に、生涯学習センターの利用実績についてご報告させていただきます。7月、8月の利用者数と稼働率ですが、7月の利用者数は2,936人、8月は2,535人、稼働率は時間に対してどれだけのコマが埋まっているかということで、部屋によってばらつきはありますが平均すると20%強となっております。2ヶ月の平均利用者数は2,700人で、コロナの影響を受ける前の平成31年度の公民館利用者数の月平均が約1,900人でしたので、現時点でコロナ禍においても1.4倍という結果が出てございます。

その他、情報提供としまして、9月議会の一般質問で「住民が利用しやすい生涯学習センターに」という質問が出ております。また、9月22日に住みよい太子町を作る会から、すべての住民が気持ちよく利用できる生涯学習センター「太子の森」となるよう改善を求める要望書が教育長宛に出されております。

以上です。

勝 良 教 育 長

只今の報告に関して、何かご質問はございませんか。

仲堅教育長職務代理者

2点あります。

文化祭についてですが、前回の定例会で規模を縮小しての開催とおっしゃられていたと思いますが、縮小する内容についてお聞かせください。

生 涯 学 習 課
東 條 課 長

文化祭につきましては、万葉ホールでの舞台発表の場での感染防止対策の徹底としまして、紅白幕やパネルでの仕切りをしないことや机の配置では間隔を空けること、会話を控えていただくようお願いをします。また、生涯学習センターでの展示は、見学者が多くなった際にスタッフが声掛けをして、ソーシャルディスタンスを保っていただくよ

うにするなどの感染防止対策を徹底して開催します。規模の縮小ではなく、感染防止対策を講じて開催します。

仲堅教育長職務代理者

開会式はどうされるのですか。

生涯学習課
東條課長

開会式につきましては、来賓の規模を縮小して行う予定をしております。

仲堅教育長職務代理者

教育委員は出席しないということによろしいですか。

生涯学習課
東條課長

はい。

仲堅教育長職務代理者

二十歳を祝う会については、教育委員の出席はどうなりますか。

生涯学習課
東條課長

現段階では詳細についてまだ決めておりませんので、決まり次第お伝えさせていただきたいと思っております。

勝良教育長

他にございませんか。

勝良教育長

無いようですので、続きまして学務指導関係の報告をお願いします。

教育総務課
学務指導担当
矢野課長

それでは、令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果と考察について説明いたします。

調査の概要及び目的等は前回と変わっておりません。結果から成果と課題を検証し、改善に役立てることが目的となっております。本年度は4月19日火曜日に、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施いたしました。本年度は3年に1度の調査である理科も加わり、小中学校ともに国語、算数、数学、理科の3科目の実施となりました。公開に関する注意事項も前回と同様でございます。中学校の場合は1校となりますので、学校が特定されるという観点から非公開といたします。

続いて、公開に向けたスケジュールです。7月下旬、文部科学省からの公表を受け、学校ごとに結果を分析しております。9月上旬に実施いたしました学力向上推進委員会議で、結果分析の交流を行っております。そして、10月中旬を目途に公表する予定でございます。

それでは、今回の平均正答率の結果です。小学校です。全国平均を1とした時の太子町の平均正答率を経年比較でお示したものでございます。グラフ右側が今年度の調査結果です。今年度は国語及び算数が全国平均と同じになりました。理科については、全国平均を下回っておりますが、平成30年度の前回調査より若干改善傾向が見られました。

続いて、前回調査である令和3年度と、理科は前回調査の平成30年度と今年度の小学校の平均正答率の調査結果を比較したグラフでございます。全国平均を1とし、横太線で示しております。2つ並びの棒グラフの左側が太子町、右側が大阪府でございます。赤色矢印が今年度の町立小学校の結果です。国語及び算数においては大阪府平均を上回り、全国平均と同じという結果になりました。太子町での前回との比較においても、大幅に改善されております。理科については前回より改善が見られるものの、大阪府及び全国との差はあり、課題が残る結果となっております。

替わって、小学校の意識調査でございます。太子町の小学生は家庭学習の時間が少ない傾向にありますが、家庭学習に時間をかけている児童も多く、前年度と同様に「する子はする、しない子はしない」という二極化の傾向が見られました。

読書については、学校の授業時間以外に本を読む児童が少ないですが、「読書が好き」という児童は全国平均より多いという結果が出ています。朝読書の時間や図書の時間などにおいて読書の機会を確保することで、読者の良さや楽しさを体感していることが見て取れます。

学校生活においては、「学校へ行くのが楽しい」「ICT機器を意見交換や調べ学習に活用している」という点について、しっかり取り組んでいる姿が見られました。

基本的な生活習慣については、毎日朝食を食べる児童は全国平均より低く、同じぐらいの時間に起きる項目が高いという結果になりました。また、前回調査と同じく、平日に4時間以上スマートフォンを含むテレビゲームをするという児童が全国平均より多いのが特徴です。家庭での過ごし方や、ゲームをする時のルールづくり、家庭学習のあり方について、さらに取り組んでいく必要があります。一方、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が全国平均より多く、キャリア教育の取り組みの成果があらわれているという結果が出ています。また、「自分に良いところがあると思う」という項目では、全国平均より低い結果となり、自己肯定感の向上を目的とした学校行事や取り組みを考え、もっと自分に自信を持って何事にもチャレンジしていく大人になるように、キャリア教育の見直しも継続していかなければなりません。

続いて、児童生徒質問紙と平均正答率の相関関係をクロス集計した結果でございます。この後お示しするグラフは、縦軸に平均正答率、横軸に回答類型を示しております。棒グラフの一番左が「当てはまる」、次に「やや当てはまる」、「やや当てはまらない」、一番右側が「当てはまらない」と回答した児童生徒の平均正答率です。まず初めに、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問です。小学生のクロス集計です。「当てはまる」と回答した児童の平均正答率が高く、「当てはまらない」と回答した児童ほど平均正答率が低いという相

関関係が見られました。次に、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」という質問においても同様の相関関係が見られ、「当てはまる」と回答した児童ほど平均正答率が高いという結果が見られました。

次にお示しするのは、8月1日の夏季教育フォーラムにおいて、町立小中学校の先生方を対象に実施したアンケート調査の分析でございます。「中学校卒業時につけておきたい力」について、自由記述していただいた文章を使用される単語の頻度で解析をかけた結果、大きい文字ほど先生方が多く書き込んだ単語となります。ご覧のように「関わる」「コミュニケーション」「繋がり」など、「他者と繋がり関わる力」「考える力」をつけて欲しいという思いがより強いことが示されております。この先生方の指導方針が、子ども達の学力と関連づくことを想起させるデータとして、過去3年間の太子中生の全てのデータを分析したグラフがこちらです。「人の役に立つ人間になりたいと思うか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」「友達と協力するのは楽しいと思うか」という質問に対し、肯定的な回答をする生徒ほど平均正答率が高いという相関関係が見られます。逆にとらえますと、協働する力や受入れる力を育成することで、学力の向上にも繋がるのではないかと考えられます。

次に、小学校の先生方のアンケート結果でございます。小学校の先生方は、中学校を卒業した時につけておきたい力について、「粘り強い」や「挑む」「踏み出す」などの力、そして「コミュニケーション力」や「思いやる」といった繋がる力を多く使っていることがわかります。同じく町立小学校児童の過去3年間の全てのデータを分析した結果、「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」や「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」という質問に対し、肯定的回答をした児童ほど平均正答率が高いという相関関係が一定見られるのではないかという結果になりました。

これらの結果分析を通して、太子町の幼小中一貫教育において目指す子ども像を共有いたしました。幼稚園、両小学校、そして中学校の教育目標の共通項と、これまでの全国学力・学習状況調査の分析結果やアンケート調査の結果を加味し、「幼小中の繋がりをもとに、豊かな人生とよりよい社会を主体的につくるために、自ら考え、動き、相手を大切にできる人」といたしました。

今後の取り組みについてのビジョンでございますが、今回の調査では、小学校は全国平均に並ぶという改善が見られました。これを踏まえ、学力向上推進委員会の方向性について、小中一貫教育で取り組む非認知能力の育成の視点を取り入れ、より子ども達が主体性を持って学びを深めていくように研究を進めて参ります。また、先ほどお示ししましたクロス集計の視点をふやし、その相関関係を意識した授業や

学校行事の取り組みを進めて参ります。小中一貫教育の基本方針に示されている5つの実践の柱に対し、今後育成しようとしている「挑む力」や「諦めない力」「協働する力」「受入れる力」などの非認知能力が、それぞれの実践の柱を下支えするイメージでございます。小中一貫教育の中の取り組みの一つとして学力向上を位置付け、授業改善やリーダー教員の育成など教員の資質向上に取り組むとともに、家庭学習など子ども達が主体的に取り組む姿勢を育成していくという視点でも学力向上に取り組んで参ります。「非認知能力の育成」というキーワードのもと、子ども達の学ぶ意欲や姿勢を下支えする取り組みを推進いたします。

個別最適な学びと、協働的な学びを、太子町立全小中学校及び幼稚園の教職員が一丸となって、今後もひたむきに取り組んでいきたいと思っております。

以上で報告を終わります。

勝良 教育長

只今の説明に関しまして、何かご質問等ございませんか。

明石 委員

中学校の学力向上について、どのようなことに取り組んでいますか。

教育総務課
学務指導担当
矢野 課長

中学校では引き続き授業改善に取り組むとともに、太子中生は行事をひたむきに取り組むことが学力にも結び付いていたことを生かし、コロナ禍において制限されていた学校行事を今後、可能な限り通常どおり取り組んでいくことで、非認知能力も含め学習をしていく気持ちの部分をしっかり育てていきたいと考えております。

明石 委員

学習指導要領が改訂されたことや教科書が変わったこと、評価観点が変わったことに伴い、全国学力・学習状況調査の傾向の変化は見られますか。

教育総務課
学務指導担当
矢野 課長

求められている力は特に大きく変わっておりませんが、協働的な学びの部分で改善が必要だということで、学力テストについても自分の言葉で表現するという部分についてはより求められるようになっていきます。

明石 委員

全国学力・学習状況調査に大きな変化があれば、その対応はどうなっているのかという疑問がありましたが、影響は少ないと考えてよろしいでしょうか。

教育総務課
学務指導担当

以前は国語A、国語Bといったように認知の部分と非認知の部分に細かく分かれておりましたが、平成31年度からひとつにまとまり表現

矢野課長

力についてより強く求められる部分が出てきておりますので、そこに対して何らかの対策が必要であると考えております。

勝良教育長

私の経験上、学力がぐんぐん上がっていく状況の中では先生方も含めて学校に活気があるといいますか、子ども達も行事に対して一生懸命で、また学力・学習状況調査の中にも先生方の熱い思いをしっかりと受けて何とか努力しよう、頑張ろうという姿が感じられました。まずは先生方のやる気といいますか熱い思いが生徒に伝わるような体制を作ることが必要だと思います。コロナの影響も非常に大きいと思いますが、中学校では部活動も低迷しているように感じます。指導者も部活動に執着がないといいますか、力を入れてやろうという姿勢が少なく全体的なムードが下降気味になっている気がします。こんな時こそ校長先生をはじめ管理職の先生方、教務や生徒指導を担当していただいている先生方の強いリーダーシップが必要であると思います。「教育は人なり」という言葉がありますが、教育委員会ができるバックアップは教職員人事をしっかりと行い、学校に配置していくことだと思っております。

人事異動等により沢山の先生が変わられていますので、中学校では業間運動をしたことのない先生が多くなっています。業間運動を再開するとなっても、おそらくやり方が分からないと思います。今まで伝統的に行われていた行事等が低迷しているというところは、大きなテコ入れが必要だと思っております。

太子町は環境が良いですが、学習環境全てが他の地域に勝っているわけではないと思いますので、学校の先生方が主体的にしっかりと思いを持って教育に取り組んでいただけるような環境を教育委員会として作っていかねばならないと強く思うところです。反省点でもございますので、そういった点に気をつけて来年度に向けての計画を立てたいと思います。

勝良教育長

他にございませんか。

上 籾 委 員

報告の最後の「今後もひたむきに取り組んでいきたいと思っております」というお言葉に安心と希望を持たせていただきました。

以上です。

教育総務課
学務指導担当
矢野課長

先生方につきましては、夏季教育フォーラム等で子ども達につけたい力について活発に話をいただいておりますので、教育委員会事務局としましては、先生方がもっともっと力をつけたいと思えるように、また、力をつけたいと思った時にしっかりとサポートできるように取り組んでいるところです。現在、SEの学校公開に向けて例年になく

一生懸命に取り組んでおりますので、今後さらに頑張っていきたいと考えております。

勝良 教育長 他にございませんか。

明石 委員 参考にお聞きしたいのですが、昨年度のチャレンジテストの結果も全国学力・学習状況調査と同じような傾向が見られたのでしょうか。

教育総務課
学務指導担当
矢野 課長 ご指摘のとおりでございます。

明石 委員 今年のチャレンジテストの結果はまだ出てませんね。

教育総務課
学務指導担当
矢野 課長 9月の中旬に実施されたところですので、まだ結果はでておりません。

明石 委員 ありがとうございます。

勝良 教育長 吉村課長補佐は昨年度まで中学校の現場におられましたので、問題点等について感じておられることがあればお話しいただけますか。

教育総務課
吉村課長補佐 今の3年生が1年生の時には担任をさせていただき、2年生の時には生徒指導で関わらせていただいております。昨年末のコロナでの部活動停止は2年生になって自分達を中心になって取り組んでいく、学校を引っ張っていくという時期に力を発揮できる場面が限られたということで、子ども達の心の面に対するコロナの影響は非常に大きかったと思います。先生方に関しても、また延期になるのではないかとということが脳裡をよぎりながらの取り組みになりますので、モチベーションを維持するのが難しくなっています。今の3年生の子達はコロナの影響をもろに受けた学年だと思えます。現在、教育委員会主導のもと非認知能力を育成する研修を行わせていただいております、学校現場で実践されている先生方が増えてきているという報告は受けておりますので、少しずつ改善していければと思っています。

勝良 教育長 非認知能力と言われている部分は行事など学校全体の生活の中で培われたものだと思いますが、部活動を一生懸命している子は集中力や持久力、物事に取り組む姿勢がしっかりとしており、勉強にもよい影響を与えていると言われております。非認知能力の育成を上手く進めてい

ただき、子ども達に力をつけていくことが大事だと思いますので、よろしくをお願いします。

他にございませんか。

教育総務課
学務指導担当
矢野課長

もう1点報告がございます。

令和4年度太子町立学校学力向上に関する取り組み等発表会の実施要項をご覧ください。

例年、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、今後の各校における学力向上の取り組み方針を発表する機会をとって参りました。本年度につきましても同調査の結果を踏まえ、例年通りの発表会とする予定でございます。なお、本年度から各校の発表の時間を従前の10分以内から、移動や準備、片付けの時間を含め、トータルで1校20分以内としております。

以上です。

勝良教育長

他に何かございませんか。

無いようですので、本日の日程はすべて終了しました。

次回は、10月24日の午前9時に開催させていただきます。

会議録の署名

教育長 _____ 印

委員 _____ 印